

大久野島ビジターセンター便り

Vol.58 (H24.1.9)

今年は辰年ですね！ウサギ年の昨年は、島で野生化して暮らしているウサギたちに会いに、たくさんの方が来島されました。今年の干支「たつ」は、空想上の生き物なので身近にもいないし、大久野島にもいないだろう…と思われるかたがいらっしゃるかもしれませんが、実はみなさんの身近な海や大久野島周辺(瀬戸内海)にも たくさんすんでいます！

今回は、大久野島周辺にも たくさん すんでいる「たつ」を ご紹介させていただきます。

今年は「たつ」年！



タツノオトシゴ

・頭をもちあげて、体をたてて泳ぐ姿が、「たつ」に似ていることから、「竜の落とし子」と名付けられたそうです。この形で魚の仲間とはびっくりです！

・タツノオトシゴは、今話題の「イクメン(=男性が育児に積極的に参加すること)」です。オスに育児嚢(いくじのう)があり、メスが袋に産み付けた卵を、かえるまで大切に守ります。日本のほとんどの海に住んでいます。

(撮影場所: 三原市幸崎町)



ヨウジウオ

・タツノオトシゴとは、近縁種(きんえんしゅ=近い仲間)で、細長い形をしています。海の中を泳いでいる姿は、竜が飛んでいるかのように見えます。

・タツノオトシゴと同じように オスに育児嚢があります。住んでいるところも同じで 流れがゆるやかでアマモや海藻がたくさん生育しているところが大好きです。

(撮影場所: 三原市幸崎町)

【三原市幸崎町のアマモ場】

・アマモは、黄緑色の細長い葉を持つ植物です。海藻とは違い、陸に生えている草と同じ仲間です。アマモがたくさん生えているところは、「アマモ場」と呼ばれ、タツノオトシゴをはじめ たくさんの生き物がすんでいます。



ビジターセンターで作ってみよう！

前回でもご紹介させていただきましたが、大久野島ビジターセンターでは、島の木の实 や いらなくなったものを再利用して作る 飾り（クラフト）を 館内で作ることができます。（要予約,要体験費）

1月から3月限定のクラフトとして、“ミニリース作り”を出来るよう、準備させていただいておりますので、興味のあるかたがいらっしゃいましたら、スタッフまで声をかけてみてください！



大久野島の木の实をつかったミニリース

・大久野島でひろった木の实で作るリース作り体験です。1つ1つ形が違うので、じっくり観察しながらパズルみたいにくっつけてみてね！
※出来上がりの大きさは、シャーペンをご参考ください。



ダイオウショウ

・ビジターセンター周辺に生育しています。ミニリースの台は、このダイオウショウの葉で作っています。
・夏～秋にかけて たくさん落ちた葉を利用して作っています！

クラフト体験してみてね！

◎クラフト体験（や館内の飾り）を通じて

- ★島の自然情報
- ★島の木の实や植物のこと
- ★再利用の楽しさ



に興味を持っていただきたいと思います！是非体験してみてくださいね！
（ビジターセンタースタッフ一同）

大久野島ビジターセンター便り vol.58 H24.1.9 発行

発行・編集：大久野島ビジターセンター

〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島

電話・FAX：(0846) 26-0100

開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）

年末年始（12/29～1/3）

お問い合わせなどはこちらまで 担当：馬場